

研究活動報告

特別講演会

フランソワ・エラン「人口高齢化と出生力：フランスの少子化対策と課題」

フランス国立人口研究所 (INED) のフランソワ・エラン (François Héran) 所長が来日し、9月22日、本研究所で標記の講演をおこなった。エラン所長は1953年生まれで、INSEE (フランス国立統計経済研究所) や INED の研究職をつとめた後、1999年に INED の6代目所長に就任した。現在、ヨーロッパ人口学会 (European Association for Population Studies) 会長でもある。移民、労働市場、社会統合など人口問題の幅広い分野に多数の研究業績を挙げているが、特に今回はフランスの人口高齢化と出生力に関連した政策課題についてお話しいただいた。

フランスは先進国の中で「例外」ともいえる比較的高い出生力を保っている国であり、わが国でも大きな関心が寄せられている。エラン所長は長い歴史を持つフランスの家族政策について詳しく述べたが、政策の出生力に及ぼす効果の評価という点では説明はなお不十分という。また人口高齢化の面では、日本の高齢化はフランスより一段と進行しており、むしろ日本から多くのことを学びたいと語った。なおエラン所長の著書『移民の時代：フランス人口学者の視点』が林昌宏氏の翻訳により数日前に明石書店より出版されたことが紹介された。

当日は所内外から多数の専門家が来聴し、質疑応答も中身の濃いものであった。これを機に日本とフランスの研究交流が盛んになることが望まれる。
(佐藤龍三郎記)

日本人口学会第60回大会

日本人口学会 (会長：高橋眞一・神戸大学名誉教授) の第60回大会は2008年6月7日～8日、日本女子大学目白キャンパスにて開催された。阿部隆・大会運営委員長 (日本女子大学人間社会学部教授) のご尽力により142名の参加者があり (うち会員は112名)、2日間にわたって活発な研究発表と討議がおこなわれた。シンポジウム、テーマセッション (1, 2, 3) および7部会12セッションに及ぶ自由論題報告の組織者、報告題目、討論者等は以下の通りである。

シンポジウム「少子化社会とワークライフバランス」

<組織者>阿部 隆 (日本女子大学)

<座長>安藏 伸治 (明治大学)

<討論者>阿藤 誠 (早稲田大学)

渡辺真知子 (明海大学)

1. 日本におけるワークライフバランス論 大沢真知子 (日本女子大学)

2. ヨーロッパにおけるワークライフバランス論 権丈 英子 (亜細亜大学)

3. 企業社会におけるワークライフバランス論 花田 光世 (慶應義塾大学)

テーマセッション1「人口とライフコースの計量分析・Part II」

<組織者>金子 隆一 (国立社会保障・人口問題研究所)